

がん患者の



ケア

～躍動する皮膚・排泄ケア～

がんといえば、日本では死因の第一位であり、年間死亡する人の3割はがんによって死に至るといいます。抗がん剤や放射線療法などの治療は患者のQOLに対して大きな負担となり、必然的に看護師の役割も大きくなります。本特集では、W・O・C（創傷・オストミー・失禁）の3分野が複合的に関連したWOCケアの醍醐味をお届けします。WOCケアの奥深さを理解して、読者の皆様がそれぞれの現場でより深いケアに到達されるように応援していきたいと思ひます。看護することの原点に立ち返って、W・O・Cケアを深めていきましょう。

1 → p.5

がん患者の
“Dynamic W・O・Cケア 2014”
～躍動する皮膚・排泄ケア～

青木和恵

2 → p.11

がん化学療法による
皮膚障害
～分子標的抗がん剤
(EGFR阻害薬)を中心に～

清原祥夫

3 → p.17

がん化学療法による
皮膚障害コントロールのための
セルフケア支援

小又美重子

4 → p.25

放射線性皮膚炎と
その対応

遠藤貴子

5 → p.31

直腸切除・切断術による
ストーマのケア

工藤礼子

6 → p.39

膀胱全摘術の
尿路変更(回腸導管、新膀胱)
のケア

安達淑子

7 → p.46

前立腺がん術後の
尿失禁ケア

谷口珠実

8 → p.54

皮膚GVHDのケア

赤川順子

9 → p.61

皮膚に表出した
がん性創傷のケア

森岡直子

10 → p.68

がん終末期の褥瘡ケア

北川智美

11 → p.73

がん終末期の
ストーマ・瘻孔ケア

大川瑞江

企画編集 青木和恵 (静岡県立静岡がんセンター 副院長, 皮膚・排泄ケア認定看護師)